

ここが聞きたい!

一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。今定例会では28人が質問しました。
※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)

総括質疑

委員会審査

討

論

審議結果

一般質問

特

集



たった1人の
政策諮問委員は疑問
滝沢 一成 (政新クラブ)



自治体サバイバル時代を
市役所一丸で取り組む
杉田 勝典 (公明党)



問／市長は、重要政策に係る政策諮問委員会に先立ち、まず1人の委員を配置する議案を提案した。人口減少対策など具体的な目的のある諮問委員会なら理解できるが、政策全般に関わり、しかもたった1人の諮問委員というのは理解できない。複数人ならば、様々な角度から議論を交わされ集合知が形成されるが、たった1人では「1人の人物の思想、施策」が反映され、極端に偏ることもあり得る。そのことに市長の考えが左右されるなら極めて危険である。また、民間の英知を得るためなら、議員こそ1人当たり何千人という市民の負託を受けた民間の代表であり、議会に諮るのが正しい在り方ではないか。「腹を割って話せる人物が行政内に欲しい」と記者会見で示しているが、市長がまずそうすべき相手は、副市長はじめ行政職員ではないか。

答／諮問委員会設置と諮問委員の委嘱については、慎重に検討したい。(※その後市長は、総務常任委員会の結果も踏まえ補正予算案から政策諮問委員の件費を削除)

自治区の事業提案の審議を議会に委ねるか
問／地域分権を進め、自治区ごとに必要とする事業を提案するとしているが、今の地域活動支援事業のように丸ごとではなく、市議会が事業を一つ一つ予算審議することを認めるのか。

答／個別に議会での審議に委ねる。

問／市長の「行財政改革」の見解を聞きたい。

答／ポストコロナやデジタル化に対応しつつ、自治体サバイバル時代を生き抜くため、引き続き行財政改革に取り組んでいかなければならない。単なる歳出削減を目指すのではなく、人事改革による職員人材育成やICT活用により、十分な議論を重ね、市役所一丸で取り組む。

地域独自の予算計上で13区間に壁や差異は
問／地域独自の予算計上は、「一体感の醸成」の観点から13区の間壁や差異が生じないか。

答／令和4年度に制度設計や合意形成を図り、段階的に取り組みたい。地域の発想を引き出し、その取組を促すことで、好循環を生み出す仕組みにし、13区間に壁が生じないようにしたい。

市民課窓口に「おくやみコーナー」の設置を
問／高齢化が進む中、遺族の手続がスムーズに行える「おくやみコーナー」を設けてはどうか。

答／ワンストップでできるように同コーナーの設置の検討を進めたい。

生活困窮世帯への灯油購入費助成の考えは
問／原油高騰に伴う冬期の灯油購入費の助成を。

答／「住民税非課税世帯に対する10万円の給付」と合わせて助成の準備を進めたい。